

消化器内科

概 要

部 長：神田 直樹

ス タ ッ フ：9 名

専 攻 医：9 名

年間入院症例数： 病棟 2240 名 （うち救急外来からの緊急入院約 845 名）

検 査 件 数：	上部消化管内視鏡（年間）	8,589 件
	下部消化管内視鏡（年間）	4,493 件
	ERCP（年間）	612 件
	小腸内視鏡検査	138 件
	ESD	244 件
	腹部血管造影	13 件
	RFA	51 件
	腹部超音波検査	8150 件

専門医・指導医： 日本消化器病学会指導医・専門医 6 名、日本消化器内視鏡学会指導医・専門医 6 名、日本肝臓学会指導医・専門医 4 名と経験の豊富な指導医が指導にあたります。また、日本内科学会総合内科専門医 5 名と臨床研修の指導スタッフも充実しています。

学 会 活 動 実 績： 論文発表 5 件、学会発表 39 件（令和 7 年度）

圧倒的な症例数に支えられた研修環境

当院は、神戸市のみならず近畿圏を代表する高度急性期病院として、多数の消化器疾患診療を担っています。

豊富な症例数を背景に、一般的な研修施設では経験が限られる希少疾患や高難度症例についても、日常診療の中で継続的に経験することが可能です。

単に症例数を経験するだけでなく、一例一例について丁寧な検討とカンファレンスを重ねることで、臨床推論力と専門性を体系的に養うことを重視しています。

また、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会など各学会専門医取得に必要な症例・手技経験を、十分に積むことが可能です。

先進的な内視鏡センター

内視鏡センターでは、年間約 14,000 件の検査・治療を実施しています。

800 m²を超える診療スペース（通路を含む）に、内視鏡検査室 7 室、X 線透視室 2 室を備え、上

部・下部内視鏡、ESD、ERCP、EUS、小腸内視鏡、各種緊急内視鏡など、多岐にわたる診療を行っています。

非常に豊富な症例経験に加え、指導医による密度の高い教育体制のもとで、専門的手技を習得できる環境を整えています。

24 時間体制を支える診療体制

当科では、スタッフ医師・専攻医あわせて 18 名体制で、高度急性期医療に貢献しています。

24 時間体制で救急診療に対応しながらも、「各科当直体制」を導入することで、診療と教育、そして休息とのバランスを重視した研修環境を整備しています。

集中して学ぶ時間と、十分に休養を取る時間の双方を大切に、持続可能な専門研修を目指しています。

見学のご案内

当科では、消化器内科専攻研修を検討されている先生方の見学を随時受け付けています。

診療内容や研修体制、内視鏡センターの雰囲気などを実際にご覧いただき、当科の診療・教育環境を体感していただければ幸いです。

見学をご希望の方は、お気軽にお問い合わせください。

神田 直樹 : nao@tb3.so-net.ne.jp / naoki_kanda@kcho.jp

行 動 目 標

- 1 年目：** ～4 ヶ月目 US、上部/下部内視鏡、EUS、ERCP、内視鏡治療（止血術/EMR、）
US 下治療（PTCD/RFA）をスタッフの指導で研修する。
主治医として、責任を持って入院患者の診療にあたる。
消化器内科当直/救急当番を上級医の指導の下に経験する。
カンファレンスにて、診断・診療能力を高める。
- 5 ヶ月目～
12 ヶ月目 内科系各疾患を主治医として診療にあたることで、内科全般の知識習得に当たる。この期間で、内科専門医研修で定められた症例数を経験する。
消化器内科研修は期間を通じて継続する。
- 2 年目：** 院外研修 連携施設での研修を施行する。希望がある場合は、京都大学消化器内科関連病院でのサブスペ領域主体の研修も可能です。その際、当科での研修が継続/発展するように、診療科間で責任持って調整します。
(12 ヶ月)
- 3 年目：** 消化器専門分野の手技、知識を一層深める。3 年間で ESD は 20 例を目標として術者として経験してもらいます。
後輩専攻医を指導できるようにする。
研修期間を通じ、学会発表・論文作成を積極的におこなう。

週間スケジュール

	午 前	午 後	夕
月	内視鏡検査	検査・処置	病理カンファレンス (PM5:30～)
火		検査・処置	外科合同カンファレンス (PM5:30～)
水		週 1・2 回消化器救急当番	腹部エコーカンファレンス IBD カンファレンス
木		検査・処置	消化器内科カンファレンス 内視鏡カンファレンス
金		3 年目は週 1 回外来	食道カンファレンス

専門研修プログラム

神戸市立医療センター中央市民病院内科専門研修プログラムは、当院ホームページをご参照ください。

URL : http://chuo.kcho.jp/recruit/late_resident

見学等問い合わせ先

神田 直樹 : nao-@tb3.so-net.ne.jp / naoki_kanda@kcho.jp